

報告日 令和5年10月31日
報告回次 1回目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	丹波山村	代表者名	村長 木下喜人
担当者部署	地方創生推進室	連絡先電話番号	0428-88-0211
担当者役職	主事	担当者氏名	矢嶋澄香
住所	409-0300 山梨県丹波山村2450番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようになどころがよかったです等詳細に）	直前の日程変更をお願いしたにもかかわらず、丁寧に対応していただき、体験会の実施に向けた流れについて具体的に手ほどきをいただけた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号	
	令和5年10月30日	支援・助言(実地)	有	令和5年10月31日	999	
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	
	令和5年10月31日	事前打合せ（オンライン）	16時30分	17時30分	活動時間（分）	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン		
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン		

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/
------	---	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	1 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	冬場の観光資源が乏しい丹波山村では、冬季の集客に苦戦している。アドバイザーに提案いただいた体験型周遊コンテンツの制作は、新たな観光の目玉になりうると考えている。村単独では実現しない事業であるため、専門家の支援が必須である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	マーダーミステリーの丹波山村版コンテンツの開発の可能性を探り、次年度に向けた予算化を確実にする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	まずは関係者を集めたマーダーミステリーの体験会を実施し、どんな内容なのかを学ぶ。観光関係の事業者等、役場関係者以外にも人を集め、意見収集できるようにするため、体験会をセッティングする。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	体験会に向けて必要な準備、当日の流れ等が明確になった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	丹波山村の冬場の集客の可能性を広げるため、村独自のマーダーミステリーの体験コンテンツを開発することを目指し、村内にマーダーミステリーに関する見識を広める。

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。